

土木工事写真作成要領

制定	昭和44年11月5日
改正	昭和61年5月1日
改正	平成4年4月1日
改正	平成8年5月1日
改正	平成15年10月1日
改正	平成21年4月1日
改正	平成23年4月1日
改正	平成26年4月1日
改正	平成31年4月1日

1. 趣旨

- (1) この要領は、土木工事施工管理基準「7. 工事写真」に定める土木工事の工事写真（デジタルカメラ及びフィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。
- (2) この要領は、埼玉県が行う土木工事の適正を期するため、工事写真について必要な事項を定めたものである。
- (3) 工事写真を電子媒体で納品（以下「電子納品」という。）する場合は、本要領並びに発注者が指定する「埼玉県電子納品運用ガイドライン」等に則り電子成果品を作成する。

2. 工事写真の分類

工事写真は、次のように分類する。

- (1) 着手前及び完成写真（既済部分写真等を含む）
- (2) 施工状況写真
- (3) 安全管理写真
- (4) 使用材料写真
- (5) 品質管理写真
- (6) 出来形管理写真
- (7) 災害写真
- (8) 事故写真

(9) その他（公害、環境、補償等）

3. 工事写真の撮影基準

工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真の撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写し込むものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図等

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

(3) 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）」、「レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）」、「レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）」、「TSを用いた出来形管理要領（舗装工事編）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

4. 写真の省略

工事写真は次の場合に省略することができるものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況の分かる写真を細別ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) その他監督員が認めた場合。

5. 写真の編集等

撮影した写真は信憑性を考慮し、編集することは認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化について』に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

6. 写真の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) デジタルカメラの有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とし、縦横比は3：4程度とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)
- (3) フィルムカメラによる写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

7. 撮影の留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する（電子納品の場合は、参考図として定められたフォルダに格納する）。

- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

8. 工事写真の提出

工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- (1) 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督員に提出するものとする。
- (2) フィルムカメラにより撮影した工事写真の原本をネガで提出する場合は密着写真とともにネガアルバムに、撮影内容等がわかるように整理し提出するものとする。
- (3) 工事写真帳の大きさは、4切版又はA4版とする。
- (2) 工事写真を電子納品する場合は、発注者が指定する「埼玉県電子納品運用ガイドライン」等に則り電子成果品を作成する。

9. 工事写真の整理方法

工事写真の整理方法は次によるものとする。

- (1) 工事写真の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の提出頻度に示すものを標準とする。

なお、提出頻度とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真として整理し提出する枚数を示したものである。
- (2) 電子納品の工事写真の整理方法は、発注者が指定する「埼玉県電子納品運用ガイドライン」等に則るものとする。

10. 電子媒体に記録する工事写真

電子媒体に記録する工事写真の属性情報等については、発注者が指定する「埼玉県電子納品運用ガイドライン」等によるものとする。

11. 用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所を示すもので、監督員の承諾した箇所をいう。
- (2) 適宜提出とは、監督員が指示した箇所を提出することをいう。
- (3) 提出頻度の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

撮影時の一般的注意事項

1. 工事着手前及び完成写真の撮影には、起終点（必要に応じて中間点）に必ずポール等の目印を立て、同一方向、同一箇所により撮影する。
2. 寸法確認等の写真は、被写体に対するカメラの位置によって、極端に映像が変わる。寸法を表示する写真を撮影する場合は、測定尺とあて木に対するカメラアングルが悪いと、写真に正確な寸法が表示できない。測定尺とカメラの位置は水平になるようにし、被写体の中心で、しかも直角の位置から写すことが原則である。
3. 基礎工等のような地形上どうしても水平に撮れない場合、あて木を極薄いものにするか、糸を張って撮るとか工夫して寸法が正しく読み取れるようにする。
4. フラッシュ撮影をする場合は、反射光を受けない角度で撮影する。
5. 同種類の工種の写真を撮影する場合は、測点、周囲の地形、地物、測点杭等を背景に入れる等、写真の中で位置がはっきりするよう工夫する。
なお、小黒板を活用することは言うまでもない。
6. 河川工事等で締切内で施工したもの又は、構造物等の施工で完成後に埋戻しするものは、特に撮影時期を失わないように注意する。
7. 細部を撮影する場合は、位置が不明確になりやすいため、同一被写体で遠近の組写真にする等の工夫が必要である。
8. 工種ごとの写真については、細部を撮影した写真のみになりがちなので、一工種1枚は全景写真を撮影するのが望ましい。
9. 写真を撮影したらできるだけ早く、撮影した写真が目的に合った写真に撮れているか、否かを調べるようにする。
10. 写真撮影の計画及び写真が出来上がった場合には、監督員に意見を聞くことが望ましい。

デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえで、以下の1から4の全てを実施することとする。

1 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、土木工事写真作成要領「3(2)撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

2 デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は土木工事写真作成要領「3(2)撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、土木工事写真作成要領に準ずるが、同条2に

示す小黑板情報の電子的記入については、土木工事写真作成要領「5 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条 2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は URL (<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ工事記録等により提出するものとする。

なお、提出された信憑性確認の結果を、監督員が確認することがある。

撮影箇所一覧表（全体）

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	着手前 1枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕	施工完了後 1枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所に1回 〔施工前後〕	代表箇所 1枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、撮影毎に1回 〔発生時〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕	不要 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納） ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、代表箇所各1枚	工事記録に添付す

撮影箇所一覧表（全体）

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	不要	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各1回 〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	不要	
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		品質証明 (JISマーク表 検査実施状況)	各品目毎に1回 〔検査時〕		
品質管理	別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に記載			適宜	
		不可視部分の 施工	適宜		
出来形管理	別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載			適宜	
		不可視部分の 施工	適宜		
		出来形管理基 準が定められ	監督員と協議事項		
災害	被災状況	被災状況及び 被災規模等	その都度〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は 付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージ アップ等	各施設設置状 況	各種類毎に1回 〔設置後〕	適宜	

出来形管理写真撮影箇所一覧表 目次

第1編	共通編	-----	680
第3編	土木工事共通編	-----	683
第4編	河川編	-----	720
第5編	砂防編	-----	723
第6編	ダム編	-----	724
第7編	道路編	-----	725
第9編	公園緑地編	-----	732
第10編	農業農村整備編	-----	762
	その他	-----	765

撮影箇所一覧表（出来形管理）

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	3 河川・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	1-2-3-2 ・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕	
							「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕	
							「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
		3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	1-2-3-3	
				締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回〔締固め時〕			
					法長、幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
1 共通編	2 土工	3 河川・砂防土工	3		盛土工	法長、幅 ※右のいずれかで撮影する。	「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕 「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影			
					4	盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	1-2-3-4		
					5	法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	1-2-3-5		
					6	堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕	1-2-3-6		
					4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	1-2-4-2
									法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	法長 ※右のいずれかで撮影する。	「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
					「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要			
							締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕
					法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
					「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
			5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	1-2-4-5
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	6 鉄筋工	4		組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	1-3-6-4
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	
			4		組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、電磁波レーダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	1-3-6-4
3 土木工事共通編	1 一般施工	3 共通的工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込前後〕	3-1-3-4
						変位	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕	
						数量	全数量 〔打込後〕	
			5		縁石工（縁石・アスカーブ）	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	3-1-3-5
			6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 〔施工後〕	3-1-3-6
			7		防止柵工 (立入防止柵) (転落（横断）防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	3-1-3-7
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	3 共通の工種	8		路側防護柵工 (ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1 施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後]	3-1-3-8
						ビーム取付高	1 施工箇所に1回 [施工後]	
			8		路側防護柵工 (ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1 施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後]	3-1-3-8
						ケーブル取付高	1 施工箇所に1回 [施工後]	
			9		区画線工	材料使用量	全数量 [施工前後]	3-1-3-9
						出来ばえ	施工日に1回 [施工前後]	
			10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1 施工箇所に1回 [施工後]	3-1-3-10
			11		コンクリート面塗 装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 [使用前後]	3-1-3-11
						素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 [施工前後]	
						塗装状況	各層毎に1回 [塗装後]	
			12		プレテンション桁 製作工(購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1 スパンに1回 [製作後]	3-1-3-12
			12		プレテンション桁 製作工(購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1 スパンに1回 [製作後]	3-1-3-12
			13		ポストテンション 桁製作工	シース、PC鋼 材配置状況	桁毎に1回 [打設前]	3-1-3-13
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 [型枠取外後]	
中詰め及びグ ラウト状況	1 スパンに1回 [施工時]							
14		プレキャストセグ メント製作工(購 入工)	断面の外形寸 法	1 スパンに1回 [製作後]	3-1-3-14			
14		プレキャストセグ メント主桁組立工	組立状況	1 スパンに1回 [組立時]	3-1-3-14			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3	1	3	15		P Cホロースラブ 製作工	シーす、PC鋼 材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-1-3-15	
						幅 厚さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
						中詰め及びグ ラウト状況	1 スパンに1回 〔施工時〕		
					16	P C箱桁製作工	シーす、PC鋼 材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-1-3-16
							幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
							内空幅 内空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	3-1-3-16
							中詰め及びグ ラウト状況	1 スパンに1回 〔施工時〕	
					16	P C押出し箱桁製 作工	シーす、PC鋼 材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-1-3-16
							幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
							内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	
							中詰め及びグ ラウト状況	1 スパンに1回 〔施工時〕	
					17	根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	3-1-3-17
							ブロックの形 状寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	
18	沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-2-18					
19	捨石工	幅	200m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-3-19 4-1-9-6 4-1-10-4					
22	階段工	幅 高さ 長さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-3-22					
24	伸縮装置工（ゴム ジョイント）	設置状況	1 スパンに1回 〔設置後〕	3-1-3-24					
24	伸縮装置工（鋼製 フィンガージョイ ント）	設置状況	1 スパンに1回 〔設置後〕	3-1-3-24					

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	3 共通の工種	26		多自然護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	3-1-3-26
						法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
			26		多自然護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-3-26
			27		羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-3-27
			27		羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-3-27
			28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	3-1-3-28
						※幅 ※高さ	200m又は1施工箇所に1回 (※印は場所打ちのある場合) 〔埋戻し前〕	
			29		側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	3-1-3-29
			29		場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	3-1-3-29 4-6-5-9 5-3-6-6 7-1-10-7
			29		暗渠工	幅 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	3-1-2-29 4-3-5-6
			30		集水柵工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	3-1-3-30
			31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	3-1-3-31
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕	
塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕							

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
3 土木工事共通編	1 一般施工	4 基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-4-1			
						厚さ					
			3		基礎工護岸(現場打)	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	3-1-4-3			
						高さ					
			4		基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-4-3			
			4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	3-1-4-4			
						根入長			1施工箇所に1回 〔打込前〕		
						数量				全数量 〔打込後〕	
						杭頭処理状況					1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕
			5		場所打杭工	根入長	1施工箇所に1回 〔施工中〕	3-1-4-5			
						偏心量			1施工箇所に1回 〔打込後〕		
						数量、杭径				全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後	
						杭頭処理状況					1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕
						鉄筋組立状況					
6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	3-1-4-7						
			偏心量			全数量 〔施工後〕					
			数量、基礎径								
	ライナープレート設置状況	1施工箇所に1回 〔掘削後〕									

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木工事共通編	1 一般施工	4 基礎工	6		深礎工	土質	土質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	3-1-4-7	
						鉄筋組立状況	全数量 〔組立後〕		
			7		オープンケーソン 基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	3-1-4-7	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し 後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		3-1-4-7
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
			8		ニューマチック ケーソン基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	3-1-4-8	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し 後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
			9		鋼管矢板基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	3-1-4-9	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回 〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回 〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
			5 石・ ブロック積 (張) 工	3		コンクリートブ ロック工 (コンクリートブ ロック積) (コンクリートブ ロック張 り)	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	3-1-5-3
法長 厚さ (ブロック積)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕								
	3		コンクリートブ ロック工(連節ブ ロック張り)	法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに 1回	3-1-5-3			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	5 石・ブロック積(張)工	3		コンクリートブロック工(天端保護ブロック)	幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	3-1-5-3
			4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	3-1-5-4
						法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1 回	
			5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	3-1-5-5
						法長 厚さ(石積・ 張)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1 回	
3 土木工事共通編	1 一般施工	6 一般舗装工	7		アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	7		アスファルト舗装工（下層路盤工）	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-7
						敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
			7		アスファルト舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-7

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度[時期]					
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	7		アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-7				
							7		アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-7
										整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
					厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-7					

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	7		アスファルト舗装工（上層路盤工） セメント（石灰） 安定処理工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
							敷均し厚さ 転圧状況		各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-7
							修正状況		各層毎400mに1回 〔修正後〕	
			7		アスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-7		
							修正状況		400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-7
							タックコート、 プライムコート		各層毎に1回 〔散布時〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	7		アスファルト舗装工(基層工)	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-7			
						7	アスファルト舗装工(表層工)		修正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-7
									タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
					平坦性	1工事に1回 〔実施中〕					
			8		半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-8			
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕				
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-8			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	8		半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
					半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
	厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔修正後〕						

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	8		半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-8
						敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写 真不要 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔修正後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土 木 工 事 共 通 編	1 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8		半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-8
						敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
			8		半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-8
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
			8		半たわみ性舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-8
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
			8		半たわみ性舗装工 (表層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-8
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						浸透性シルク注入 状況	400mに1回 〔注入時〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	8		半たわみ性舗装工 (表層工)	平坦性	1 工事 1 回 〔実施中〕	3-1-6-8
			9		排水性舗装工 (下 層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕	3-1-6-9
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領 (舗装工事編) (案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナードを用いた出 来形管理要領 (舗装工事 編) (案)」、「TS (ノ ンプリズム方式) を用いた 出来形管理要領 (舗装工事 編) (案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、 「地上型レーザーキャ ナードを用いた出来形管理要 領 (舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザーキャナードを 用いた出来形管理要領 (舗 装工事編) (案)」、「T S (ノンプリズム方式) を 用いた出来形管理要領 (舗 装工事編) (案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕							

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	9		排水性舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-9	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
			幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕					
			9		排水性舗装工（上層路盤工） セメント（石灰） 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	9		排水性舗装工（上層路盤工） セメント（石灰） 安定処理工	厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-9	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
			9		排水性舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-9
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	9		排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	幅	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-9			
						9	排水性舗装工(基層工)		修正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-9
									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						9	排水性舗装工(表層工)		修正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-9
									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
									平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木工事共通編	1 一般施工	6 一般舗装工	10		透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-10	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
			10		透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3-1-6-10
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
					平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
			11		グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-11
					整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度[時期]					
3 土 木 工 事 共 通 編	1 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11		グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-11				
							11		グースアスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-11
										タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
							11		グースアスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔修正後〕	3-1-6-11
			タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕								
			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕								
			12	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-12					
					整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕						
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕						

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	12		コンクリート舗装工（下層路盤工）	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12
							12	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	6 一般舗装工	12		コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12
			12		コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土 木 工 事 共 通 編	1 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12		コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12
						12		
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
			12		コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	3-1-6-12
						スリップバー、タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
						鉄網寸法位置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	12		コンクリート舗装工 (コンクリート 舗装版工)	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12	
						目地段差	1工事に1回		
			12		コンクリート舗装工 (転圧コンク リート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-12
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上移動体搭 載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による 場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	12		コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 下層路盤工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12
							12	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
3 土 木 工 事 共 通 編	1 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12		コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12			
							12	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-12
									整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
				厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕						

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土 木 工 事 共 通 編	1 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12		コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12	
					コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） アスファルト中間層	修正状況	400mに1回 〔修正後〕		3-1-6-12
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
			12		コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-12	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	12		コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	3-1-6-12			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕				
						12	コンクリート舗装工（連続鉄筋コンクリート舗装工）		石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	3-1-6-12
									鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
									横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕	
			縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕							
			平坦性	1工事に1回〔実施中〕							

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	12		コンクリート舗装工 (連続鉄筋コン クリート舗装工)	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の 場合は打設前後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャ ナーを用いた出来形管理要 領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レー ザースキャナーを用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に 1回 〔修正後〕	3-1-6-12	
						目地段差	1工事に1回		
			13		薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-13
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔修正後〕		
	13		薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-13			
				修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕				
				厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕				
				幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔修正後〕				

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	13		薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-13	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写 真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
			13		薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
			13		薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3-1-6-13
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
3 土木 工事 共通 編	1 一般 施工	6 一般 舗装 工	14		ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-14		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕			
			14		ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3-1-6-14	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕			
			14		ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			3-1-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写 真不要			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要					
						撮影項目	撮影頻度[時期]						
3 土木工事共通編	1 一般施工	6 一般舗装工	14		ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-1-6-14					
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
			14		ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3-1-6-14				
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕						
			15		路面切削工	幅 厚さ(基準 高)	1 施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕		3-1-6-15				
						舗装打換え工	幅 延長 厚さ			1 施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-6-16		
			17		オーバーレイ工	平坦性	1 施工箇所に1回 〔施工後〕		3-1-6-17				
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕						
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕						
			7 地盤改良工		2		路床安定処理工		施工厚さ 幅	40mに1回〔施工後〕	3-1-7-2		
							3			置換工	置換厚さ 幅	40m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-7-3
											5		パイルネット工
							6			サンドマット工			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	7 地盤改良工	7	8	バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ 施工状況	200㎡又は1施工箇所に1回 〔打込み前後、施工中〕	3-1-7-7
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所に1回 〔打込後〕	
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕	
		9	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	3-1-7-9		
				深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕			
		10 仮設工	5	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所に1回 〔打込前〕	3-1-10-5	
					数量	全数量 〔打込後〕		
		5	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	3-1-10-5		
				配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕			
		3 土木工事共通編	1 一般施工	10 仮設工	5	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回
天端幅 法長	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕							
5	土留・仮締切工 (中詰盛土)				出来ばえ	250m又は1施工箇所に1回 〔施工前後〕	3-1-10-5	
9	地中連続壁工(壁式)				連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-10-9	
10	地中連続壁工(柱列式)				連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-10-10	
22	法面吹付工					第3編1-14-3吹付工 に準ずる	3-1-10-22	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	12 工場製作工	1		鑄造工（金属支承工）	製作状況	適宜〔製作中〕	3-1-12-1
			1		鑄造工（大型ゴム支承工）	製作状況	適宜〔製作中〕	3-1-12-1
			1		仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-1
						製作状況	適宜〔製作中〕	
			1		刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所 に1回〔仮組立時〕	3-1-12-1
			3		桁製作工（仮組立による検査を実施する場合） （シミュレーション仮組立検査を行う場合）	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-3 ※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法 （撮影項目は適宜）	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	
			3		桁製作工（仮組立検査を実施しない場合）	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-3
						製作状況	適宜〔製作中〕	
			3		桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時））	仮組立寸法 （撮影項目は適宜）	1基に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	3-1-12-3
			4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-4
						製作状況	適宜〔製作中〕	
			5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-5
製作状況	適宜〔製作中〕							
仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕							
6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-6			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	12 工場製作工	6		落橋防止装置製作工	製作状況	適宜〔製作中〕	3-1-12-6
			7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-7
						製作状況	適宜〔製作中〕	
			8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	3-1-12-8
			9		プレビーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-9
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	
			10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-1-12-10
						製作状況	適宜〔製作中〕	
			11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	3-1-12-11
						素地調整状況 (塗替)	部材別〔施工前後〕	
	塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕						
		13 橋梁架設工	1		架設工(鋼橋) (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	3-1-13-1

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要						
						撮影項目	撮影頻度[時期]							
3 土木工事共通編	1 一般施工	13 橋梁架設工	2		架設工 (コンクリート橋) (クレーン架設) (架設桁架設) 架設支保工 (固定) (移動) 架設桁架設 (片持架設) (押出架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	3-1-13-2						
									14 法面工	2	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、 植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	3-1-14-2
												土羽土の厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	
	法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕												
	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔清掃後〕	3-1-14-2									
			ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1施工箇所 に1回 〔吹付前〕										
			厚さ(検測孔)	200m ² 又は1施工箇所 に1回 〔吹付後〕										
			法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕										
			材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕										

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度[時期]					
3 土木工事共通編	1 一般施工	14 法面工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕	3-1-14-3				
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕					
						法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕					
						厚さ(検測孔)	200m ² 又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕					
				4			法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 吹付け枠中心 間隔	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	3-1-14-4		
				4			法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	3-1-14-4		
				6		アンカー工	削孔深さ	1 施工箇所に1 回 〔削孔後〕	3-1-14-6			
			配置誤差				1 施工箇所に1 回 〔施工後〕					
				15 擁壁工	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	3-1-15-1		
			厚さ 幅 高さ					200m又は1 施工箇所に1 回 〔型枠取外し後〕				
			2						据付状況		200m又は1 施工箇所に1 回 〔埋戻し前〕	3-1-15-2
			3						高さ 鉛直度		120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	3-1-15-3
			4						井桁ブロック工		裏込厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕
				法長 厚さ	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕							

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	1 一般施工	16 浚渫工	3		浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	3-1-16-3
		18 床版工	1		床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効 高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1 スパンに1回 〔打設前後〕	3-1-18-1
4 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-1-7-4
		10 水制工	8		杭出し水制工	径 杭長	1 施工箇所に1回 〔打込み前〕	4-1-10-8
						幅 方向	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
		13 光ケーブル配管工	3		配管工	配管状況	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-1-13-3
	4			ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-1-13-4	
	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本體工	6		函渠工(本體工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	4-3-5-6
			6		函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120m又は1 施工箇所に1回 〔巻立前〕	4-3-5-6

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
4 河川編	1 築堤・護岸		7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	4-3-5-7
			8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	4-3-5-8
	4 水門	6 水門本 体工	1		水門	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	4-4-6-1
					扉体、戸当り及び 閉開装置		機械工事施工管理基準 (案) 参照	
					水門塗装		機械工事施工管理基準 (案) 参照	
			7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	4-4-6-7 4-4-6-8 4-4-6-9 4-4-6-10 4-4-6-11
		9 鋼管 橋上 部工	10		支承工（鋼製支 承）	支承取付状況	1 スパンに1回 〔取付後〕	4-4-9-10
			10		支承工（ゴム支 承）	支承取付状況	1 スパンに1回 〔取付後〕	4-4-9-10
		12 橋梁 付属 物工 （鋼 管橋 ）	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-4-12-4
			5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-4-12-5 4-4-12-6
			7		検査路工	幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-4-12-7
	5 堰	6 可動 堰本 体工	13 14		閘門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-5-6-13 4-5-6-14

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
4 河川編	5 堰	7 固定堰 本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-5-7-8 4-5-7-9 4-5-7-10			
					8 魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	4-5-8-3
					9 管理橋 下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-5-9-2
	6 排水 機場	4 機場 本体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-6-4-6			
			7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-6-4-7			
		5 沈砂 池工	7		コンクリート床版 工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	4-6-5-7			
	7 床止 め・ 床固 め	4 床止 め工	6 4		本体工(床固め本 体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	4-7-4-6			
								4-7-5-4			
		5 床固 め工	8		水叩工	幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	4-7-4-8			
7							4-7-5-7				
5 床固 め工	6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	4-7-5-6					

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
5 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	5-1-3-4	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
	8 コンクリート堰堤工	4			コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に1回 〔施工中〕	5-1-8-4	
						打継目処理 打込・養生	4リフトに1回 〔施工中〕		
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
						6	コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕
	8	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	5-1-8-8				
	9 鋼製堰堤工	5			鋼製堰堤本体工 (不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	5-1-9-5	
						鋼製堰堤本体工 (透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	5-1-9-5
							鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕
	2 流路	5 床固め工	8			魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	5-2-5-8
	3 斜面对策	6 山腹水路工	4			山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	5-3-6-4

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
5 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	5-3-7-4
			5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	5-3-7-5
		9 抑止杭工	6			合成杭工	偏心量	1 施行箇所 に1回 〔施工後〕
数量	全数量 〔打込後〕							
6 ダム編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工 (本体)	天端幅 ジョイント間 隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-1-4
					コンクリートダム工 (水叩)	ジョイント間 隔 幅 長さ	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-1-4
						打継目処理	奇数ブロック 毎に岩着部 中間リフト に1回	
					コンクリートダム工 (副ダム)	ジョイント間 隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-1-4
					コンクリートダム工 (導流壁)	ジョイント間 隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-1-4
2 フィルダム	3 盛立工	5		コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-2-3-5	
		6		フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-2-3-6	
		7		ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-2-3-7	
				フィルダム (洪水吐)	ジョイント間 隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	6-2	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
6 ダム編	3 基礎 グラウチング	3 ボーリング工			ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差	ブロック毎に1回 〔施工中〕	6-3-3		
						コア	地質変化毎全数量 〔抜取後〕			
7 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2		遮音壁支柱製作工	部材長	1 施工箇所 〔製作後〕	7-1-3-2		
						9 カルバート工	6			場所打函渠工
		11 落石 雪害 防止工		4			落石防止網工	幅	1 施工箇所 〔施工後〕	7-1-11-4
							落石防護柵工	高さ	200m又は1 施工箇所 〔施工後〕	7-1-11-5
							防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200m又は1 施工箇所 〔施工後〕	7-1-11-6
							雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1 施工箇所 〔施工後〕	7-1-11-7
		12 遮音壁工		4			遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所 〔施工前は必要に応じて〕 〔施工前後〕	7-1-12-4
							遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1 施工箇所 〔施工後〕	7-1-12-5

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
7 道路編	2 舗装	4 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	7-2-4	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
				歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	7-2-4		
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
	平坦性				1工事に1回 〔実施中〕				
	5 排水 構造物工 (路面排水工)	9			排水性舗装用路肩 排水工	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕		7-2-5-9
	7 踏掛版工	4			踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕		7-2-7-4
<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ									
<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長									

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
7 道路編	2 舗装	9 標識工	4		大型標識工（標識基礎工）	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所 に1回 〔施工後〕	7-2-9-4	
			4		大型標識工（標識柱工）	設置高さ	1 施工箇所に1回	7-2-9-4	
		12 道路付 属施設工	5		ケーブル配管工	配管状況	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	7-2-12-5	
			5		ケーブル配管工 （ハンドホール）	厚さ 幅 高さ	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	7-2-12-5	
			6		照明工（照明柱基礎工）	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所 に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前後〕	7-2-12-6	
	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1 脚に1回又は1 工事に1回 〔原寸時〕	7-3-3-3	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 （撮影項目は適宜）	1 脚に1回又は1 工事に1回 〔仮組立時〕		
		6 橋台工	8			橋台躯体工	厚さ 天端幅（橋軸方向） 敷幅（橋軸方向） 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	7-3-6-8
							7 RC橋脚工	9	
			9		橋脚躯体工（ラーメン式）	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	7-3-7-9	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9		橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	7-3-8-9
					橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外し後〕	7-3-8-9
				10	橋脚架設工 (I 型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	7-3-8-10
				10	橋脚架設工 (門 型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	7-3-8-10
				11	現場継手工	継手部のすき 間	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	7-3-8-11
4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1 橋に1回又は1工事に1 回 〔原寸時〕	7-4-3-9	
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト 孔の削孔長	1 施工箇所に1回〔削孔 後〕	7-4-8-3	
5 コンクリート橋上部	6 プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作 工 (現場)	原寸状況	1 橋に1回又は1工事に1 回 〔原寸時〕	7-5-6-2	
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
					仮組立寸法 (撮影項目は適 宜)	1 橋に1回又は1工事に1 回 〔仮組立時〕		
					幅 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7 道路編	6 トンネル (NATM)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	7-6-4-3
						湧水状況	適宜 〔掘削中〕	
						吹付面の清掃 状況	80mに1回 〔清掃後〕	
						金網の重合せ 状況	80mに1回 〔2次吹付前〕	
						吹付け厚さ (検測孔)	80mに1回 〔吹付後〕	
		4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80mに 1断面 〔穿孔中〕	7-6-4-4	
					ロックボルト 注入状況	施工パターン毎又は80mに 1断面 〔注入中〕		
					ロックボルト 打設後の状況	施工パターン毎又は80mに 1断面 〔打設後〕		
		5 覆工	3	覆工コンクリート 工	覆工 (巻立空間)	1 セントルに1回 〔型枠組立後〕	7-6-5-3	
					覆工 (厚さ)	1 セントルに1回 〔型枠取外し後〕		
					幅 高さ	200m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕		
		5		床版コンクリート 工	幅 厚さ	200m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	7-6-5-5	
6 イン バート 工	4	インバート本体工	インバート (厚さ)	40m又は1 施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	7-6-6-4			
			幅 (全幅)	200m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕				

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7 道路編	6 トンネル (NATM)	8 坑門工	4		坑門本体工	幅 高さ	1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	7-6-8-4
			5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	40m又は1 施工箇所に 1 回 〔型枠組立後〕	7-6-8-5
						覆工 (厚さ)	40m又は1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	
						幅 (全幅) 高さ(内法)	200m又は1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
	11 共同溝	6 現場打構築工	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	200m又は1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	7-11-6-2
			4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1 施工箇所に 1 回 〔設置後〕	7-11-6-4
			5		防水工 (防水)	幅	100m又は1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	7-11-6-5
			5		防水工 (防水保護工)	厚さ	100m又は1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	7-11-6-5
			5		防水工 (防水壁)	高さ 幅 厚さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	7-11-6-5
			7 プレキャスト構築工	2		プレキャスト躯体工	据付状況	200m又は1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	2		管路工（管路部）	敷設状況	100m又は1施工箇所に1回 〔敷設後〕	7-12-5-2
			3		プレキャストボックス工（特殊部）	据付状況	100m又は1施工箇所に1回 〔据付後〕	7-12-5-3
			4		現場打ちボックス工（特殊部）	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	7-12-5-4
		6	2		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	7-12-6-2
14 道路維持	4 舗装工	5			切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕	7-14-4-5
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕	
	7				路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	7-14-4-11
						整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
11				グルーピング工	出来ばえ	施工日に1回 （施工前後）	7-14-4-11	
16 道路修繕	3 工場製作工	4			桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	7-16-3-4
						製作状況	適宜 〔製作中〕	
						仮組立寸法 （撮影項目は適宜）	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
	22 橋梁付属物工	4			落橋防止装置工	長さ、径、材質	1橋に1回又は1工事に1回 （材料搬入時）	7-16-22-4
						出来ばえ	適宜 〔施工中〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園 緑地 編	1 基盤 整備	3 敷地 造成 工	2 表土 保全 工		表土掘削	土質等の判断	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔掘削中〕		
						幅 深さ 法長	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔掘削後〕		
			3 整地 工		公園整地	仕上げ状況	100m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔仕上げ時〕		
						仕上げ厚			
			4 掘削 工		掘削 (土砂) 掘削 (軟岩) 掘削 (硬岩)	土質等の判断	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕		
						法長	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔掘削後〕		
			5 盛土 工		盛土 (流用土) 盛土 (発生土) 盛土 (採取土) 盛土 (購入土)	蒔出厚	200mに1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔蒔出中〕		
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕		
						幅 法長	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔施工後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園緑地編	1 基盤整備	3 敷地造成工	6 路体・路床盛土工		路体(築堤)盛土 路床盛土	蒔出厚	200mに1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔蒔出中〕		
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕		
						幅 法長	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔施工後〕		
					7 法面整形工	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ		120m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔仕上げ時〕
					8 路床安定処理工	安定処理	仕上げ状況 厚さ		40mに1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔仕上げ時〕
9 置換工	置換	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔施工後〕						
10 サンドマット工		サンドマット	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔施工後〕					

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	1 基盤整備	3 敷地造成工	11 バーチカルドレーン工		サトドリレン 袋詰式サトドリレン ペーパードリレン	打込長さ 施工状況	200 m ² 又は1 施工箇所に1 回 又は施工面積1,000 m ² 毎に1 回 〔打込前後〕 〔施工中〕	
					杭径 位置・間隔	200 m ² 又は1 施工箇所に1 回 又は施工面積1,000 m ² 毎に1 回 〔打込後〕		
					砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
	5 植栽基盤工	3 透水層工		開渠排水	高さ 幅	120m又は1 施工箇所に1 回 〔埋戻し前〕		
				暗渠排水	高さ 幅 厚さ 長さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔埋戻し前〕		
	4 土層改良工			普通耕 深耕 混層耕 心土破碎	幅 深さ 施工状況	耕耘タイプ毎に1 回 又は施工面積1,600 m ² 毎に1 回 〔施工前〕 〔施工後〕 〔施工中〕		
				5 土性改良工		土性改良 中和剤施用 除塩 施肥		幅 深さ 施工状況
	6 表土盛土工			盛土 (流用表土) 盛土 (発生表土) 盛土 (採取表土) 盛土 (購入表土)		蒔出厚	200mに1 回 又は施工面積1,600 m ² 毎に1 回 〔蒔出中〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	1 基盤整備	5 植栽基盤工	6 表土盛土工		盛土 (流用表土) 盛土 (発生表土) 盛土 (採取表土) 盛土 (購入表土)	締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕	
					幅 法長	200m又は1 施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に 1回 〔施工後〕		
			7 人工地盤工		人工地盤排水層	高さ 幅 厚さ 長さ	120m又は1 施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	
					フィルター 防根シート	高さ 幅 厚さ	120m又は1 施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	
		立排水浸透柵			厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕		
		8 造形工		表面仕上げ 築山	仕上げ状況	100m又は1 施工箇所に1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔仕上げ中〕 〔施工中〕		
		6 法面工	3 法面ネット工		法面ネット		3-1-14-4法枠工 (プレキャスト法枠工) に準ずる。	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園 緑地 編	1 基盤 整備	6 法面 工	4 植生 工		種子散布 植生シート 植生マット 公園種子帯 公園張芝 公園筋芝 公園市松芝 人工張芝 植生穴	材料使用量	1 工事につき 1 回 〔混合前〕		
						土羽土の厚さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔施工中〕		
						法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
						客土吹付 植生基材吹付	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎に 1 回 〔清掃後〕		
						ラス鉄鋼の重 ね合せ寸法	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔吹付前〕		
						厚さ（検測 孔）	200 m ² 又は 1 施工箇所に 1 回 〔吹付後〕		
					法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕			
					材料使用量	1 工事に 1 回 〔混合前〕			
					5 法 砕 工		現場打法砕 吹付砕		3-1-14-4 法砕工（現場打法 砕工）（現場吹付法砕工） に準ずる。
							プレキャスト法砕 金属製法砕		3-1-14-4 法砕工（プレキャ スト法砕工）に準ずる。

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	1 基盤整備	6 法面工	6		編柵	高さ	100m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕	
			7 かご工		じゃかご		3-1-3-27羽口工（じゃかご）に準ずる。	
					ふとんかご		3-1-3-27羽口工（ふとんかご、かご枠）に準ずる。	
		7 軽量盛土工	2		軽量盛土 コンクリート床版 基礎コンクリート 壁体 裏込砕石		1-2-4-3路体盛土工に準ずる。	
		8 擁壁工	4 場所打擁壁工（構造物単位） ・場所打擁壁工		小型擁壁 重力式擁壁 もたれ式擁壁 逆T型擁壁 L型擁壁 鉄筋 裏込砕石 止水板 コンクリート 型枠 足場 目地板 水抜パイプ 吸出し防止材		3-1-15-1場所打擁壁工に準ずる。	
					基礎材 均しコンクリート		3-1-4-1一般事項（砕石基礎工）（均しコンクリート）に準ずる。	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	1 基盤整備	8 擁壁工	4 場所打擁壁工（構造物単位） ・場所打擁壁工	公園基礎材	幅 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔施工後〕		
				擁壁高さ調整	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
			5 プレキャスト擁壁工	プレキャスト擁壁		3-1-15-2プレキャスト擁壁工に準ずる。		
			6 補強土壁工	補強土壁基礎 帯鋼補強土壁・アン カー補強土壁 ジオテキスタイル補強土 壁		1-2-3-4盛土補強工に準ず る。		
			7 コンクリートブロック工	コンクリートブロック基礎 コンクリートブロック積 間知ブロック張 平ブロック張 連節ブロック張 緑化ブロック積 ブロック植栽 天端コンクリート 小口止コンクリート		3-1-5-3コンクリートブロッ ク工に準ずる。		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	1 基盤整備	8 擁壁工	8 石積工		崩れ積	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
					法長又は高さ			
				面積 玉石積 小端積 こぶだし石積 切石積 間知石積 雑割石積 雑石積 割石積 雑割石張 雑石張		3-1-5-3石積（張）工に準ず る。		
			石積高さ調整	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			
		9 土留め工		土留め	基礎高 基礎幅 根入れ長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
					高さ 延長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
	9 公園カルバート工	4 場所打函渠工（構造物単位） ・場所打函渠工		場所打函渠工	7-1-9-6場所打函渠工に準ず る。			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
9 公園緑地編	1 基盤整備	9 公園カルバート工	5 プレキャストカルバート工		プレキャストボックス		3-1-3-28プレキャストカルバート工に準ずる。			
					10 公園施設等撤去・移設工	3 移設工	遊具移設	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕	
								基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕	
								小工作物移設	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕
		景石移設	施工状況	5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕						
	2 植栽	3 植栽工	3 高木植栽工		高木植栽 高木植栽 (支柱有・幹巻有) 高木植栽 (支柱有・幹巻無)	①植穴 径 深さ	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕			
						②樹木 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕			
						③支柱 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕			
						④客土 施工状況、 材料の使用量(空袋)	樹種別、規格別に1回 〔施工中〕 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	2 植栽	3 植栽工	3 高木植栽工		高木植栽 高木植栽 (支柱有・幹巻有) 高木植栽 (支柱有・幹巻無)	⑤肥料 施工状況、材料の使用量(空袋)	樹種別、規格別に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
						⑥土壌改良材 施工状況、材料の使用量(空袋)	樹種別、規格別に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			6 地被類植栽工		地被類植栽	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
			7 草花種子散布工		草花種子散布 草花植生マット	材料使用量	種子別又は1工事につき1回 〔混合前〕	
						厚さ	種子別又は1工事につき1回 又は施工面積1,600m ² 毎に1回 〔施工中〕	
			8 播種工		播種	①種子 播種状況	種子別1回 〔施工中〕	
						②肥料 施工状況、材料の使用量(空袋) ③養生材 施工状況、材料の使用量(空袋)	種子別1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			9 花壇植栽工		花壇植栽	施工状況	花壇植栽別1回 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	2 植栽	3 植栽工	10 樹木養生工		防風ネット	支柱の高さ 延長	120m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	
					寒冷紗巻き	施工状況	樹種別1回 〔施工後〕	
					植穴透水層	厚さ 幅 長さ	樹種別1回 〔施工後〕	
					空気管	施工状況	樹種別1回 〔施工後〕	
					養生柵	基礎高 基礎幅 根入れ長	100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工前〕 〔施工後〕	
						高さ 延長	100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工前〕 〔施工後〕	
					支柱設置	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
		11 樹名板工	埋込型樹名板	基礎高 基礎幅	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に 応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕			
			幹巻型樹名板	施工状況	樹種別1回 〔施工後〕			
		12 根囲い保護工	根囲い保護	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に 応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕			
		14 壁面緑化施設工	壁面緑化フェンス 壁面緑化パネル 登はん補助資材	施工状況	1 施工箇所 (タイプ毎) に 1回 〔施工中〕 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	2 植栽	4 移植工	3		高中木根回し	根回し状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
			4		高木移植	①樹木 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
						②支柱 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
			5		根株移植 根株運搬 特殊機械掘取 特殊機械運搬	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
			6		中低木移植	①樹木 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
						②支柱 施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
			7		地被類移植 地被類運搬	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕	
	5 樹木整姿工	3		基本剪定 軽剪定 機械剪定	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕		
		4		手刈 機械刈	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度[時期]					
9 公園緑地編	2 植栽	5 樹木整姿工	5 樹勢回復工		樹勢回復	施工状況	樹種別、規格別に1回 〔施工後〕					
					樹木修復	施工状況	修復方法別に1回 〔施工後〕					
	3 施設整備	3 給水設備工	3 水栓類取付工		メーターボックス 止水栓 止水栓ボックス 不凍水栓 ボックス類高さ調整	据付状況	5箇所に1回 〔施工後〕					
					6 散水施設工	トリップパイプ	高さ 据付状況		100m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕			
							散水栓 散水栓ボックス		据付状況	5箇所に1回 〔施工後〕		
							散水栓高さ調整		施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
						8 給水施設修繕工			給水施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎） に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園緑地編	3 施設整備	3 給水設備工	10 給水管路工		給水管埋設ソート	高さ 据付状況	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕		
					埋設標	据付状況	5箇所に1回 〔施工後〕		
		4 雨水排水設備工	6 側溝工		*L型側溝 *管(函)渠型側溝 *プレキャストU型側溝 プレキャスト皿形側溝 *コルゲートフリューム *自由勾配側溝 特殊円形側溝			3-1-3-29側溝工(プレキャストU型側溝)(L型側溝)(自由勾配側溝)に準ずる。	
					現場打L型側溝	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外後〕		
					現場打側溝	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外後〕		
					公園素掘側溝	高さ 幅	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕		
					側溝高さ調整	施工状況	1施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
					7 管渠工	公園管渠 コルゲートパイプ		3-1-3-29側溝工(管渠)に準ずる。	
		8 集水柵・マンホール工		街渠柵 集水柵 浸透柵 プレキャスト街渠柵 プレキャスト集水柵 塩化ビニル製柵 マンホール プレキャストマンホール 公園マンホール 浸透マンホール			3-1-3-30集水柵工に準ずる。		
				柵高さ調整 マンホール高さ調整	施工状況	1施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園緑地編	3 施設整備	4 雨水排水設備工	9		透水コンクリート管 化学繊維管 地下排水			3-1-3-29暗渠工に準ずる。	
			10		現場打水路 プレキャスト水路工			3-1-3-29場所打水路工に準ずる。	
	6 電気設備工	3 照明設備工			ハットホル			7-2-12-5ケーブル配管工（ハットホル）に準ずる。	
					ハットホル高さ調整	施工状況		1 施工箇所に1回 〔施工前〕、〔施工後〕	
					引込柱 分電盤	基礎高 基礎幅 根入れ長		基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕、〔施工後〕	
					分電盤高さ調整	施工状況		1 施工箇所に1回 〔施工前〕、〔施工後〕	
					照明灯基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長		基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕、〔施工後〕	
		4 放送設備工			スピーカー柱基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長		基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
		5 監視カメラ設置工			監視カメラ柱基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長		基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
		6 電気設備修繕工			電気設備修繕	施工状況		1 施工箇所（修繕内容毎） に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕	
		8 電線配管工			電線管 電線 埋設シート	高さ 据付状況		120m又は1 施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	5 アスファルト舗装工	下層路盤 上層路盤	敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔施工中〕		
					整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
					厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
				基層 表層	整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
					タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
					幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
			6 排水性舗装工	下層路盤 上層路盤	敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔施工中〕		
					整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
					厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
				基層 表層	整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕		
					タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕							

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]				
9 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	7 透水性舗装工		路盤	敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔施工中〕				
						整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕				
						厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕				
						幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕				
					表層	整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕				
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕				
						幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² に1回 〔整正後〕				
					8 ア ス フ ア ルト 系 舗 装 工				公園アスファルト舗装 公園アスファルト薄層カ ラー舗装 透水性アスファルト舗装 脱色アスファルト舗装	[路盤工] 敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積500 m ² に1回 〔施工中〕
										[路盤工] 整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積500 m ² に1回 〔整正後〕
										[路盤工] 厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積500 m ² に1回 〔整正後〕
										[路盤工] 幅	各層毎80mに1回 又は施工面積500 m ² に1回 〔整正後〕
[表層工] 整正(敷設) 状況	各層毎200mに1回 又は施工面積500 m ² に1回 〔整正後〕										
[表層工] タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕										

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	14		飛石	砕石基礎 厚さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			16		コンクリート縁石 現場打縁石 駒止めブロック 舗装止め 擬石縁石 レガ縁石 木縁石 見切材（仕切材） 石材縁石 縁石高さ調整		3-1-3-5縁石工（縁石・アス カーブ）に準ずる。	
			17		溶解式区画線 ペイント式区画線 区画線消去 区画線消去(W J 式日当施工量 未満)		3-1-3-9区画線工に準ずる。	
			18		コンクリート階段 コンクリートブロック階段 丸太階段 擬木階段 石材階段	幅 高さ 長さ 段数	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
					階段高さ調整	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕	
			19		公園橋橋台 石橋橋台 木橋橋台	幅 厚さ 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	
					公園橋設置 八ッ橋 石橋設置 木橋設置 浮き棧橋	幅 高さ 長さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			20		デッキ基礎 デッキ設置	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	3 施設整備	7 園路広場整備工	23	植樹ブロック	植樹ブロック		3-1-3-5縁石工（縁石・アスカーブ）に準ずる。	
			8	3 石組工	石組 景石	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			4	添景物工	つくばい 井筒 灯籠 石塔 擬岩造形	施工状況	5 箇所に1回 〔施工後〕	
			5	袖垣・垣根工	袖垣 垣根	高さ 延長	120m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
	5 修景施設整備工	7	トレリス 緑化フェンス		基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5 箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕		
					高さ 延長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
		9 小規模水景施設工		流れ	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
				滝	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
	池			厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			
	州浜			厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	3 施設整備	5 修景施設整備工	9 小規模水景施設工	壁泉	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
				カスケード	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
				カナル	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
	8 修景施設整備工	10 修景施設修繕工	修景施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎） に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕			
			9 遊戯施設整備工	3 遊具組立設置工	ブランコ ジャングルジム 滑台 シーソー 鉄棒 ラダー はん登棒 スプリング遊具 複合遊具 アスチック遊具 健康遊具施設		設置高さ	1回／1基 〔施工後〕
	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕						
	4 小規模現場打遊具工		砂場	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			
			現場打遊具	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			
			徒渉池	厚さ 幅 高さ 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園緑地編	3 施設整備	9 遊戯施設整備工	5		遊具施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕		
			10	3	時計台	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕		
			4		水飲み場	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕		
						基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕		
			6		ベンチ・テーブル工	ベンチ 縁台 テーブル スツール 野外卓	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕	
							基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
			8		炊事場工	炊事場	設置高さ	1回／1基 〔施工後〕	
							基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	3 施設整備	10	10		サービス施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕	
		11	3		リサイクル施設基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
			5		くず入れ 吸殻入れ	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
		5	井戸工		さく井	施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕	
					手押しポンプ	基礎高 基礎幅 根入れ長	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕	
		7		門壁 門柱 門扉	基礎高 基礎幅 根入れ長	1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕		
		8	柵工		フェンス 柵 手すり 転落(横断)防止柵	基礎高 基礎幅 根入れ長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工前〕 〔施工後〕	
					ガードレール ガードケーブル ガードパイプ	高さ 延長	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	3 施設整備	11 管理施設整備工	9 車止め工		車止め 車止めポスト 車椅子ゲート	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕	
			14 管理施設修繕工		管理施設修繕	施工状況	1 施工箇所 (修繕内容毎) に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕	
		12 建築施設組立設置工	3 四阿工		四阿基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕	
	15 建築施設修繕工			建築施設修繕	施工状況	1 施工箇所 (修繕内容毎) に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕		
	4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート舗装工	4 グラウンド・コート用舗装工		下層路盤 上層路盤 中層	敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕	
幅						各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート舗装工	4 グラウンド・コート用舗装工	基層	整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔施工後〕		
					タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
					幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					抜取りコア厚 さ	全数量 〔抜取り後〕		
				クレー舗装 アンツーカー舗装 天然芝舗装 グラウンド・コート砂舗 装 グラウンド・コートダスト 舗装	〔路盤工〕 敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔施工中〕		
					〔路盤工〕 整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔路盤工〕 厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔路盤工〕 幅	各層毎80mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔表層工〕 整正（施工） 状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔路盤工〕 敷均し厚 転圧状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔施工中〕		
				人工芝舗装 全天候型舗装 （樹脂系） 全天候型舗装 （アスファルト系）	〔路盤工〕 整正状況	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔路盤工〕 厚さ	各層毎200mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔表層工〕 整正（施工状 況）	各層毎400mに1回 又は施工面積1,000 m ² 毎に 1回 〔整正後〕		
					〔表層工〕 タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
					〔表層工〕 抜取りコア厚 さ	全数量 〔抜取り後〕		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート舗装工	5 グラウンド・コート縁石工		コンクリート縁石 舗装止め 見切材（仕切材） 内圏縁石		3-2-3-8縁石工（縁石・アスカーブ）に準ずる。	
					スタンド擁壁	幅 高さ 厚さ 法長	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外後〕	
					スタンドベンチ 現場打ベンチ	幅 高さ 厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外後〕	
					スタンド施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎） に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕	
		4 スタンド整備工	3 スタンド擁壁工		スタンド擁壁			
		4 ベンチ工			スタンドベンチ 現場打ベンチ			
		5 スタンド施設修繕工			スタンド施設修繕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
9 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	5 グラウンド・コート施設整備工	3 ダッグアウト工		ダッグアウト基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕		
					5 バックネット工		バックネット基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕
							高さ 延長	100m又は1箇所 に1回 〔施工後〕	
			6 競技施設工		フールポール ポスト ゴールポスト 支柱台 スポーツサークル 跳躍箱 踏切板		設置高さ	1回/1基 〔施工後〕	
							基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕	
							塁ベース基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前〕 〔施工後〕
			11 グラウンド・コート柵工			高尺ネットフェンス フェンス 防球ネット	基礎高 基礎幅 根入れ長	120m又は1箇所 に1回 〔型枠取外後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度[時期]					
9 公園緑地編	4 グラウンド・コート整備	5 グラウンド・コート施設整備工	12 グラウンド・コート施設修繕工		グラウンド・コート施設修繕	施工状況	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回 〔施工前〕 〔施工中〕 〔施工後〕					
						5 自然育成	3 自然育成盛土工		3 自然育成盛土工	蒔き出し	蒔き出し厚	200mに1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に1回 〔蒔き出し時〕
											蒔き出し状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔蒔き出し時〕
	幅 法長	200mに1回又は1 施工箇所に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に1回 〔施工後〕										
	4 自然水路工				遮水・止水シート	幅 高さ	40m又は1 施工箇所に1回 〔施工状況〕 〔施工後〕					
					ごろた石積 崩れ積	胴込裏込厚	3-2-5-3石積（張）工に準ずる。					
					砂・礫敷	法長又は高さ	100m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕					
						厚さ 幅	200mに1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に1回					

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	5 自然育成	3 自然育成施設工	5	水田工	遮水・止水シート	高さ	1 施工箇所に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			6	ガレ山工	ガレ山	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			7	粗朶山工	粗朶山	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			8	カントリーヘッジ工	カントリーヘッジ	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			9	石積土堰堤工	石積土堰堤	高さ 幅 施工状況	1 施工箇所に1回 〔施工中〕 〔施工後〕	
			10	しがらみ柵工	しがらみ柵	高さ 幅	120m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			11 自然育成型護岸工	階段ブロック積 魚巣ブロック積		3-1-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		
				石積 石張 雑割石張		3-2-5-3石積（張）工に準ずる。		
				かごマット		3-1-3-26多自然護岸工（かごマット）に準ずる。		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	5 自然育成	3 自然育成施設工	11 自然育成型護岸工		玉石階段	長又は高さ 幅 高さ 長さ 段数	100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	
					種子散布 公園張芝 公園筋芝 公園市松芝	材料使用量	1 工事につき1回 〔混合前〕	
						土羽土の厚さ	200m又は1 施工箇所 に1回 又は施工面積1,600 m ² 毎に1回 〔施工中〕	
						法長	200m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	
					覆土（流用土） 覆土（発生土） 覆土（採取土） 覆土（購入土）		1-2-3-5法面整形工（盛土 部）に準ずる。	
			12 保護柵工		保護柵	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 （施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
					高さ 延長	120m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕		
			13 解説板工		解説板	基礎高 基礎幅 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 （施工前は必要に 応じて） 〔施工前〕 〔施工後〕	
						14 自然育成施設修繕工	自然育成施設修繕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 公園緑地編	5 自然育成	3 自然育成施設工	16 自然育成型護岸基礎工	現場打基礎		3-1-4-3基礎工（護岸）（現場打）に準ずる。		
				プレキャスト基礎		3-1-4-3基礎工（護岸）（プレキャスト）に準ずる。		
			17 沈床工	木工沈床 改良沈床 粗朶沈床 袋詰玉石 吸出し防止材 粗朶単床 粗朶柵		3-1-3-18沈床工に準ずる。		
				18 捨石工	捨石 表面均し 吸出し防止材		3-1-3-19捨石工に準ずる。	
	22 杭出し水制工	杭出し水制		4-1-10-8杭出し水制工に準ずる。				
5 自然育成	4 自然育成施設工	4 水性植物植栽工	水性植物植栽	施工状況	樹種別1回 〔施工後〕			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
10 農業 農村 整備 編	1 ほ 場 整 備 工 事				表土扱い	表土厚	おおむね10 a 当たり 1 箇所		
					基盤造成 表土整地	基盤面 表土埋戻後	おおむね10 a 当たり 1 箇所		
					畦畔復旧	幅 高さ その他必要箇 所	施工延長おおむね200～400 mにつき 1 箇所 上記未満は 2 箇所		
					道路工 (砂利道)	まき出し厚さ 転圧 厚さ 幅 その他必要箇 所	幹線道路は50～100mにつき 1 箇所 支線道路は200～400mに つき 1 箇所		
					暗渠排水工事 吸水渠	埋設深 埋設間隔 その他必要箇 所	1 耕区当たり 1～2 箇所		
	暗渠排水工事 集水渠(支線) 導水渠(幹線)	埋設深 その他必要箇 所	施工延長おおむね50～100m につき 1 箇所						
	2 農 用 地 造 成 工 事					耕起深耕	耕起深 つぼ掘り	おおむね 1 ha 当たり 2～3 箇所のほか、つぼ掘りは 2 ha 当たり 1 箇所	
						テラス (階段畑)	幅 耕起幅 法勾配 その他必要箇 所	テラス延長100～200mにつ き 1 箇所 上記未満は 2 箇所	
						道路工 (耕作道)	幅 厚さ 法勾配 側溝幅	施工延長おおむね100～200 mにつき 1 箇所	
						土壌改良	サンプル採取 中及び試験中 の箇所 その他必要箇 所	おおむね 2 ha 当たり 1 箇所	
改良山成						基準高 法勾配 その他必要箇 所	測定点 2～3 箇所につき 1 箇所		

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 農業農村整備編	3 水路工事				現場打開水路	幅 厚さ 高さ 配筋 打継目 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1箇所	
					現場打サイホン	幅 厚さ 高さ 配筋 打継目 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1箇所	
					現場打暗渠	幅 厚さ 高さ 配筋 打継目 その他必要箇所	おおむね2スパンにつき1箇所	
					鉄筋コンクリート大型フリーム	布設 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所 上記未満は2箇所	
					鉄筋コンクリートL形水路	幅 厚さ 布設 その他必要箇所	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所 上記未満は2箇所	
					ボックスカルバート水路	高さ その他必要箇所	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所 上記未満は2箇所	
	4 管水路工事				管体基礎工 (砂基礎及び埋戻等)	基礎、埋戻等の厚さ、幅 まき出し、締固め状況等	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所 上記未満は2箇所	
管水路 (遠心力鉄筋コンクリート管)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所				施工延長おおむね50～100mにつき1箇所 上記未満は2箇所			

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10	4				管水路 (ダクタイル鋳鉄管) (強化プラスチック複合管)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所	施工延長おおむね50~100m につき1箇所 上記未満は2箇所	
					管水路 (硬質塩化ビニル管)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 その他必要箇所	施工延長おおむね50~100m につき1箇所 上記未満は2箇所	
					管水路 (鋼管)	芯出し据付け 状況 溶接作業 清掃状況 塗装 非破壊検査 ピンホール検査 膜厚検査 その他必要箇所	施工延長おおむね50~100m につき1箇所 上記未満は2箇所	
					管水路 (埋設とう性管) たわみ率	マーキング関係 Dh及びDv寸法 その他必要な箇所	たわみ量測定箇所2箇所につき1箇所 ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所	
					シールド工事 (一次覆工)	セグメント設置状況 外観検査 Dh及びDv寸法 その他必要箇所	施工延長おおむね50~100m につき1箇所 上記未満は2箇所 たわみ率測定箇所2箇所につき1箇所 ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所	
					シールド工事 (二次覆工)	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 Dh及びDv寸法 その他必要箇所	施工延長おおむね50~100m につき1箇所 上記未満は2箇所 たわみ率測定箇所2箇所につき1箇所 ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所	
					推進工事	管布設状況 外観検査 ジョイント関係 Dh及びDv寸法 その他必要箇所	施工延長おおむね50~100m につき1箇所 上記未満は2箇所 たわみ率測定箇所2箇所につき1箇所 ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1 施工箇所につき1回 〔施工中〕	その他
					ダム工関係	仮排水路	厚さ、高さ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕	その他
						仮締切（土石）	巻出し厚	100m又は1 施工箇所につき1回 〔巻出し時〕	その他
							転圧状況	転圧機械が変わる毎につき1回 〔締固時〕	その他
					仮締切（コンクリート）	厚さ、高さ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔型枠取外し後〕	その他	
					基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎につき1回 〔施工中〕	その他	
						土質、岩質	土質、岩質変わる毎につき1回 〔掘削中〕	その他	
						岩盤清掃状況	1 施工箇所につき1回 〔清掃前後〕	その他	
					堤体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	月に1回 〔施工中〕	その他	
						打継目処理、打込養生	8 リフトにつき1回 〔施工中〕	その他	
					堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトにつき1回 〔据付後〕	その他	
					堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトにつき1回 〔据付後〕	その他	
					堤体冷却工	配管間隔、通水状況	5 リフトにつき1回 〔据付後〕	その他	
					堤体埋設計器	器種、位置、間隔	1 施工箇所につき1回 〔据付後〕	その他	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
その他				トンネル工関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1 施工箇所	1 回 〔埋戻し前〕	その他
					トンネル（矢板工法）	岩質	岩質の変わる毎に 1 回 〔掘削中〕	その他	
						湧水状況	適宜 〔掘削中〕	その他	
					埋設支保工（建込間隔、寸法、基数）		100m 又は 1 施工箇所	1 回 〔建込後〕	その他
					湧水処理工設置状況		全数量	〔設置後〕	その他
					集水渠（幅、高さ、位置）		100m 又は 1 施工箇所	1 回 〔設置後〕	その他
					地下排水工（管接合据付状況）				その他
					地下排水工（フィルター厚さ）		100m 又は 1 施工箇所	1 回 〔投入前後〕	その他
					矢板設置状況		岩質の変わる毎に 1 回 〔設置後〕		その他
					グラウト材料使用量		全数量	〔使用前後〕	その他
					シールド	掘削の地山状態		地質の変化の毎に 1 回 〔掘削中〕	その他
						セグメント組立状況		1 工事に 1 回 〔組立後〕	その他
						二次覆工（セグメント清掃状況）		1 工事に 1 回 〔清掃後〕	その他
						二次覆工の厚さ		1 スパンに 1 回 〔型枠取外し後〕	その他

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
その他				維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回 〔施工前後〕	その他
					コンクリート舗装	目地掃除	3,000㎡に1回 〔施工前後〕	その他
						目地充填	3,000㎡に1回 〔施工後〕	その他
						注入工、削孔 状況（位置、 間隔）	2,000㎡に1回 〔削孔後〕	その他
						注入工、 注入圧	2,000㎡に1回 〔注入時〕	その他
						目地亀裂防止 材、張付け状 況	3,000㎡に1回 〔張付け後〕	その他
						局部打換、各 層厚さ	各層毎100mに1回又は1施 工箇所1回 〔施工前後〕	その他
						路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇 所に1回 〔施工後〕
					道路除草	出来ばえ	2 kmに1回（1回刈毎） 〔施工前後〕	その他
					路肩整正	出来ばえ	1 kmに1回	その他
					新設、更新、修理 防護柵類	出来ばえ	1 施工箇所に1回（施工前 は必要に応じて） 〔施工前後〕	その他
					新設、更新、修理 標識類	基礎幅、深 さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前後〕	その他
					新設、更新、修理 照明灯	基礎幅、深 さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回 （施工前は必要に応じて） 〔施工前後〕	その他
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回 〔施工後〕	その他
清掃（路面、標 識、側溝、集水 柵）	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	その他					

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
その他				維持修繕工関係	区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	その他	
						材料使用量	全数量 〔施工前後〕	その他	
					街路樹植樹	出来ばえ	適宜 〔施工前後〕	その他	
					街路樹補強補植	出来ばえ	適宜 〔施工前後〕	その他	
					街路樹剪定	出来ばえ	街路樹50本に1回、 グリーンベルト100mに1回 〔施工前後〕	その他	
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、 グリーンベルト100mに1回 〔施工中〕	その他	
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜 〔施工後〕	その他	
					排雪除雪	出来栄え、機 種	施工中に1回 〔施工中〕	その他	
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 〔施工中〕	その他	
						材料使用量	全数量 〔施工前後〕	その他	
					河川除草	出来ばえ、刈 草処理状況	1 kmに1回 (1回刈毎) 〔施工前後〕	その他	
					応急処置	処理の状況	その都度 〔施工前後〕	その他	
					鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、 継手寸法	打設ロット毎に1回又は1 施工箇所毎に1回 〔組立後〕	その他
						コンクリート打設	打継目処理、 締固施工状況	工種種別毎に1回 〔施工時〕	その他
						養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方 法毎に1回 〔養生時〕	その他

品質管理写真撮影箇所一覧表 目次

1	セメント・コンクリート -----	770
5	ガス圧接 -----	770
6	既成杭工 -----	770
7	下層路盤 -----	771
8	上層路盤 -----	771
9	アスファルト安定処理路盤 -----	771
10	セメント安定処理路盤 -----	771
11	アスファルト舗装 -----	771
12	転圧コンクリート -----	771
13	グースアスファルト舗装 -----	771
14	路床安定処理工 -----	772
15	表層安定処理工 -----	772
16	固結工 -----	772
17	アンカー工 -----	772
18	補強土壁工 -----	772
19	吹付工 -----	772
20	現場吹付法枠工 -----	773
21	河川土工 -----	773
22	砂防土工 -----	773
23	道路土工 -----	773
24	捨石工 -----	773
25	コンクリートダム -----	774
26	覆工コンクリート (NATM) -----	774
27	吹付コンクリート (NATM) -----	775
28	ロックボルト (NATM) -----	775
29	路上再生路盤工 -----	775
30	路上表層再生工 -----	775
31	排水性舗装工・透水性舗装工 -----	776
32	プラント再生舗装工 -----	776
33	工場製作工 -----	776
34	ガス切断工 -----	776
35	溶接工 -----	776
38	公園緑地編 -----	777

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
1	セメント・コンクリート(転圧 コンクリート・ コンクリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを 除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験に使用した コンクリートの供試体が、 当該現場の供試体である ことが確認できるもの
		スランプ試験		
		コンクリートの圧縮強度試験		
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]	
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	コンクリート舗装の場合 適用
		コアによる強度試験 コンクリートの洗い分析試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
5	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
		超音波探傷検査		
		ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]	
6	既製杭工	テストハンマーによる強度推定調査	テストハンマー試験により 必要が認められた時 [試験実施中]	
		コアによる強度試験		
		コアによる強度試験		
7	下層路盤	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]	
		放射線透過試験		
		超音波探傷試験		
		水セメント比試験		
		セメントミルクの圧縮強度試験		
現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]			
プルーフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]			
平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]			
骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]			
土の液性限界・塑性限界試験				
含水比試験				

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
8	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		粒度		
		平板載荷試験		
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		含水比試験		
9	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		
10	セメント安定処理路盤（施工）	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		現場密度の測定		
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
11	アスファルト舗装（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		水浸ホイールラッキング試験		
		ホイールラッキング試験		
		ラベリング試験		
	アスファルト舗装（舗設現場）	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
		外観検査		
		すべり抵抗試験		
12	転圧コンクリート（施工）	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	
		マーシャル突き固め試験		
		ランマー突き固め試験		
		コンクリートの曲げ強度試験		
		温度測定（コンクリート）	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]	
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	
		コアによる密度測定		
13	ゲースアスファルト舗装（プラント）	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		リュエル流動性試験240℃		
		ホイールラッキング試験		
		曲げ試験		
		粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
	ゲースアスファルト舗装（舗設現場）	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
14	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回 [試験実施中] ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		プルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
	たわみ量	プルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]			
15	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		プルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		たわみ量	プルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
16	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]		
17	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 [試験実施中]		
		モルタルの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
18	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
19	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]		
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランプ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		モルタルを除く
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
20	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		
		塩化物総量規制			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		スランプ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		モルタルを除く
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
21	河川土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
22	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
23	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		プルフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
		たわみ量	プルフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
24	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]		
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
25	コンクリートダム(材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回 [試験実施中]		
		骨材の密度及び吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回 [試験実施中]		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験			
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回 [試験実施中]		
		粗骨材中の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸トリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
		骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験			
		練り混ぜ水の水質試験			
	コンクリートダム(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]		
		スランプ試験			
空気量測定		品質に変化が認められた場合 [試験実施中]			
コンクリートの圧縮強度試験		配合毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの		
温度測定				気温・コンクリート	
コンクリートの単位容積質量試験					
コンクリートの洗い分析試験					
コンクリートのブリージング試験					
コンクリートの引張強度試験					
コンクリートの曲げ強度試験					
26	覆工コンクリート (NATM)			スランプ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]
		コンクリートの圧縮強度試験		配合毎に1回 [試験実施中]	
		塩化物総量規制			
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの洗い分析試験			

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
27	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験		
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	
		空気量測定		
コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]			
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回	
28	ロックボルト (NATM)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	
		モルタルのフロー値試験		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜	
29	路上再生路盤工 (材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の粒度試験		
		土の含水比試験		
		土の液性限界・塑性限界試験		
	路上再生路盤工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の一軸圧縮試験		
		CAEの一軸圧縮試験		
		含水比試験		
30	路上表層再生工 (材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	
		旧アスファルトの軟化点		
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
		かきほぐし深さ		
		粒度		
	アスファルト量抽出粒度分析試験			

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
31	排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホイールラッキング試験			
		ホイールラッキング試験			
		ラベリング試験			
		カンタプロ試験			
31	排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
		外観検査			
32	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		再生アスファルト量			
		水浸ホイールラッキング試験			
		ホイールラッキング試験			
		ラベリング試験			
32	プラント再生舗装工 (舗設現場)	外観検査	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定			
		現場密度の測定			
33	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 [現物照合時]		
		在庫品切出			当初の物件で1枚 [切出時] ※他は焼き増し
		機械試験			1橋に1回又は1工事に1回 [試験実施中]
34	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 [試験実施中]		
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
35	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験			外観検査が不合格となったスタッドジベルについて [試験実施中]

撮影箇所一覧表（公園緑地編 品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
38-1	たたき粘土	土の粒度試験	土質毎に1回 [試験実施中]	
		土粒子の密度試験		
		土の含水試験		
		土の透水試験		
38-2	土舗装材	土の粒度試験	土質毎に1回 [試験実施中]	
		土粒子の密度試験		
		土の含水試験		
38-3	クレー舗装材	土の粒度試験	土質毎に1回 [試験実施中]	
		土粒子の密度試験		
		土の含水試験		
		硬度（施工）	1,000m ² 毎に1回 [試験実施中]	
38-4	アンツーカー舗装材	含水比	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		粒度		
		硬度（施工）	1,000m ² 毎に1回 [試験実施中]	
38-5	舗装用石材	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	
38-6	積み・張り用石材	岩石の圧縮強さ		
		岩石の形状		
38-7	火山砂利	最大乾燥密度の測定	採取地毎に1回 [試験実施中]	
		修正CBRの測定		
		骨材のふるい分け試験		
		骨材の洗い試験		
		粗骨材のすりへり試験		
		骨材の安定性試験		
		凍上試験		
		強熱減量試験		
		土の透水試験	採取地毎に1回 [試験実施中]	
		締固め度の測定（施工）	A類300 m ² 毎に1回 B・C類1,500 m ² 毎に1回 [試験実施中]	
骨材のふるい分け試験（施工）	搬入時に1回 観察により異常が認められた場合 [試験実施中]			
骨材の洗い試験（施工）				
38-8	客土	pH（H ₂ O） [簡易pH計]	採取地毎に1回 [試験実施中]	
		有害物質 [電気伝導度（ECメー		
38-9	高木	高さ	樹種別、規格別に1回 [試験実施中]	
		幹周		
		枝張		

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
38-10	中低木	高さ	樹種別、規格別に1回 [試験実施中]	
		枝張		
38-11	特殊樹木	高さ	樹種別、規格別に1回 [試験実施中]	
		幹周		
		枝張又は尺		
38-12	地被類	茎長	樹種別、規格別に1回 [試験実施中]	
		芽立		
38-13	木材	木材の加圧式防腐処理方法	材料毎に1回 [試験実施中]	
		クレオソート油、加工タール、タール ピッチ (特記による)		
		木材の浸漬式防腐処理方法		
		含水率		
		保存処理剤浸度試験		